



■ 二分の一 成人式

2月23日に、4年生が二分の一成人式をおこないました。

4年生は生まれてこれまで10年、そして成人式まであと10年です。

私は、1月10日におこなわれた、筑前町の成人式にも出席させていただきました。5年前まで中学3年生として、同じ教室でいっしょに学んでいた人たちが、20才を迎え、働き始めた人もいれば、大学に通っている人もいます。短大や専門学校に通い「4月から働き始めます」という人もいました。小学校では、みんなが同じような道を歩んでいます、20才になれば、確実に自分が選択した自分独自の道を歩み始めることとなります。

これまでの10年間よりも、これからの10年間の方が、いろいろな世界が子どもたちの前に広がるし、多くのことが求められるようになってきます。

本校でも、二分の一成人式を迎えるにあたり、3学期に入って校舎内から毎日のように式に向けての太鼓の音が聞こえていました。子どもたちが柿原先生や谷川先生と一緒にしっかり練習している姿も時々見せてもらい、たくましく感じていました。

二分の一成人式では、今まで練習してきたものが十分に発揮できたと思います。



■ 6年生 未来夢プラン

6年生は、今、総合学習で「未来夢プラン」という学習をしています。

これは、筑前町の「筑前っ子育成プラン」の「夢や志を育む教育」に基づく学習で、夢や希望、高い志を持つ子を育てることを目的としています。

最近の子どもたちの傾向として、将来への夢や希望が持てず、そのため、夢を実現させるための具体的プランが作れない子が増えています。そこで、現在、生き生きと仕事をされている様々な職業の方と出会い、仕事の内容について学習したり、その仕事のやりがいや苦勞について学習したりしながら、将来の夢や希望について考え、夢や希望にむかって日々努力することが素晴らしいことなんだと感じる切っ掛けになってくれればと考えています。

これまで、警察官、客船の操縦士、放送局のレポーター、パン職人（予定）の人たちからお話を聞かせていただきました。



■ エルル スペシャルお話し会

3月1日、エルルの皆さんが、卒業していく6年生を対象にお話し会をしてくださいました。演目は「桃太郎」でした。「おはなし」というより、ミュージカル構成で、リズムカルでユーモアあふれる歌と演技に6年生は大喜びでした。出演者は6年生の保護者が多く、この6年間、保護者に支えられながら成長できたということを確認させられました。お話し会の後、6年間多読児童の表彰がおこなわれました。



■ お別れ集会・お別れ遠足

3月4日（金）に、お別れ集会及びお別れ遠足を行いました。最初に、学校の体育館でお別れ集会を行いました。音楽クラブやイベント委員会、各学年からの趣向を凝らした発表や楽しいゲームが行われました。1～5年生の発表には、6年生に対する感謝の気持ちがあふれていました。

また、6年生は、この6年間に感じたこと、学んだことをみんなに楽しんでもらえるようにコントを交えながら発表しました。先生方も「かぐや姫」の創作劇を披露し、みんなで楽しい時間を共有しました。お別れ会が終わると、学校を出発し、目的地である安の里まで歩きました。到着してからは、学年を越えた縦割りでお弁当を食べたり、一緒に遊んだりしました。天気にも恵まれ、児童にとって思い出の1日となったことと思います。

